

# 博多区への転入者が増加

～平成20年 住民基本台帳, 外国人登録に基づく人口～

今号の特集では、福岡市における平成20年9月末現在の住民基本台帳に基づく人口及び平成20年の人口動態を、そして今回から平成20年9月末現在の外国人登録の状況を紹介します。

1世帯当たり人員は2.12人で、前年比0.02人の減少となっています。人口、世帯数ともに、毎年増加を続けていますが、1世帯当たり人員は、減少が続いています。

(表1, 図1)

## 1. 住民基本台帳に基づく人口

### (1) 概要

**人口は前年に比べ 9,723人, 0.7%の増加**

住民基本台帳に基づく平成20年9月末現在の福岡市の人口は1,382,563人で、前年(平成19年9月末現在)に比べ9,723人増加し、増加率は0.7%となっています。

世帯数は652,282世帯で、前年に比べ9,768世帯の増加、増加率1.5%となっており、人口の増加を上回っています。

性別に見ると、男性は656,798人で、前年比3,863人(増加率0.6%)の増加、女性は725,765人で、前年比5,860人(同0.8%)の増加となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は、年々下降を続け、前年より0.2ポイント下降し、90.5となっています。

### 「住民基本台帳に基づく人口」とは…

「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したもので、外国人登録人口を含みません。

また、毎月1日現在で公表している「推計人口」とは、平成17年国勢調査人口に、毎月の住民基本台帳人口と外国人登録人口の異動を加減したものです。

図1 人口及び1世帯当たり人員の推移

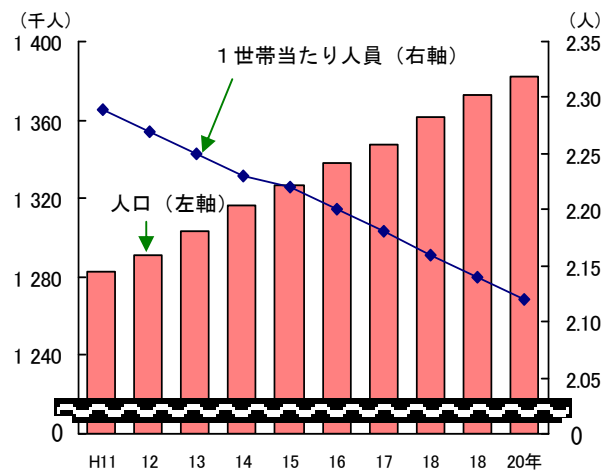


表1 世帯数, 人口等の推移

年	世帯数		人口		男		女		性比	1世帯当たり人員
	世帯	前年増加率	人口	前年増加率	男	女	男	女		
平成11年	560 143	1.6	1 282 580	0.7	616 690	665 890	92.6	2.29		
12年	569 340	1.6	1 291 542	0.7	619 940	671 602	92.3	2.27		
13年	579 166	1.7	1 303 253	0.9	624 601	678 652	92.0	2.25		
14年	589 349	1.8	1 316 222	1.0	630 069	686 153	91.8	2.23		
15年	598 954	1.6	1 327 099	0.8	634 863	692 236	91.7	2.22		
16年	608 510	1.6	1 337 576	0.8	639 168	698 408	91.5	2.20		
17年	618 034	1.6	1 347 823	0.8	642 842	704 981	91.2	2.18		
18年	630 866	2.1	1 361 060	1.0	648 387	712 673	91.0	2.16		
19年	642 514	1.8	1 372 840	0.9	652 935	719 905	90.7	2.14		
平成20年	652 282	1.5	1 382 563	0.7	656 798	725 765	90.5	2.12		

## (2) 行政区別人口

### 博多区が世帯数、人口とも大きく増加

行政区別に見ると、7区の中で東区が人口、世帯数ともに最も多く、人口は272,728人、世帯数は122,998世帯となっています。

人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区で、人口121,213人、世帯数56,045世帯となっています。

平成19年に比べ、世帯数はすべての区で増加していますが、人口は5区で増加し、南区と城南区の2区においてわずかに減少しています。

人口の増加が最も大きいのは博多区で、3,444人増加、ついで東区が3,119人増加となっており、この2つの区で福岡市全体の増加分の67%を占めています。

性比を見ると、中央区が79.0と他の区に比べて女性の割合が高くなっているのに対し、東区、博多区は94.8と他の区に比べ男性の割合が高くなっています。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.42人で、以下、早良区(2.32人)、

東区(2.22人)と続き、都心部に位置する中央区(1.77人)と博多区(1.83人)は、福岡市全体(2.12人)を下回っています。

(表2)

## (3) 年齢別人口

### 年少人口の構成比は変わらず

### 老年人口は増加

年齢別の構成比を見ると、福岡市全体の0～14歳の「年少人口」の構成比は14.0%で、3年連続同じ割合となっています。

しかし、15～64歳の「生産年齢人口」は69.2%で、前年に比べ0.4ポイント減少し、また、65歳以上の「老年人口」は16.8%で、前年に比べ0.4ポイント増加しており、引き続き高齢化が進んでいます。

行政区別に見ると、年少人口の割合が高いのは、西区、早良区及び東区で、老年人口の割合が高いのは城南区、南区及び西区となっています。博多区と中央区では生産年齢人口の割合が高く、年少人口と老年人口の割合が低くなっています。(表3)

表2 行政区別世帯数及び人口

市区	平成19年		平成20年						各年9月末現在 増減			
	世帯数 <small>世帯</small>	人口 <small>人</small>	世帯数 <small>世帯</small>	人口 <small>人</small>	人口		性比	1世帯当 たり人員 <small>人</small>	世帯数 <small>世帯</small>	前年比 <small>%</small>	人口 <small>人</small>	前年比 <small>%</small>
					男 <small>人</small>	女 <small>人</small>						
福岡市	642 514	1 372 840	652 282	1 382 563	656 798	725 765	90.5	2.12	9 768	1.5	9 723	0.7
東 区	120 790	269 609	122 998	272 728	132 727	140 001	94.8	2.22	2 208	1.8	3 119	1.2
博多区	100 962	186 587	104 015	190 031	92 499	97 532	94.8	1.83	3 053	3.0	3 444	1.8
中央区	89 961	160 428	91 420	162 067	71 521	90 546	79.0	1.77	1 459	1.6	1 639	1.0
南 区	110 309	242 533	110 905	242 327	114 263	128 064	89.2	2.18	596	0.5	△ 206	△ 0.1
城南区	55 870	121 330	56 045	121 213	57 963	63 250	91.6	2.16	175	0.3	△ 117	△ 0.1
早良区	89 461	208 901	90 345	209 179	99 390	109 789	90.5	2.32	884	1.0	278	0.1
西 区	75 161	183 452	76 554	185 018	88 435	96 583	91.6	2.42	1 393	1.9	1 566	0.9

表3 年齢別(3区分)人口

区 分	平成20年9月末現在								
	福岡市	東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区	
総 数	1 382 563	272 728	190 031	162 067	242 327	121 213	209 179	185 018	
0～14歳	193 725	40 534	23 228	18 028	33 989	16 600	31 780	29 566	
15～64歳	957 148	186 437	137 087	119 024	165 948	83 218	142 428	123 006	
65歳以上	231 690	45 757	29 716	25 015	42 390	21 395	34 971	32 446	
構成比(%)									
0～14歳	14.0	14.9	12.2	11.1	14.0	13.7	15.2	16.0	
15～64歳	69.2	68.4	72.1	73.4	68.5	68.7	68.1	66.5	
65歳以上	16.8	16.8	15.6	15.4	17.5	17.7	16.7	17.5	

**(4) 世帯員数別世帯数**  
世帯の44.4%が1人世帯

世帯員数別に世帯数を見ると、福岡市全体では、1人世帯の割合が44.4%と平成19年と比べ0.4ポイント増加しています。

また、2人世帯の割合は22.9%（平成19年に比べ0.2ポイント増加）で、市内の3分の2の世帯が2人以下の世帯ということになります。

3人以上の世帯の割合は32.7%で、平成19年に比べ0.6ポイント減少しています。

行政区別に見ると、中央区と博多区は1人世帯の割合が半数を超え、3人以上世帯の割合が低くなっています。

これとは対照的に、西区と早良区は3人以上世帯の割合が高く、1人世帯の割合が低くなっています。

年齢別と併せて見ると、都心部では若い人の1人世帯が多く、周縁部では子供や老人を含めた家族構成の世帯が多いと考えられます。（表4、図2）

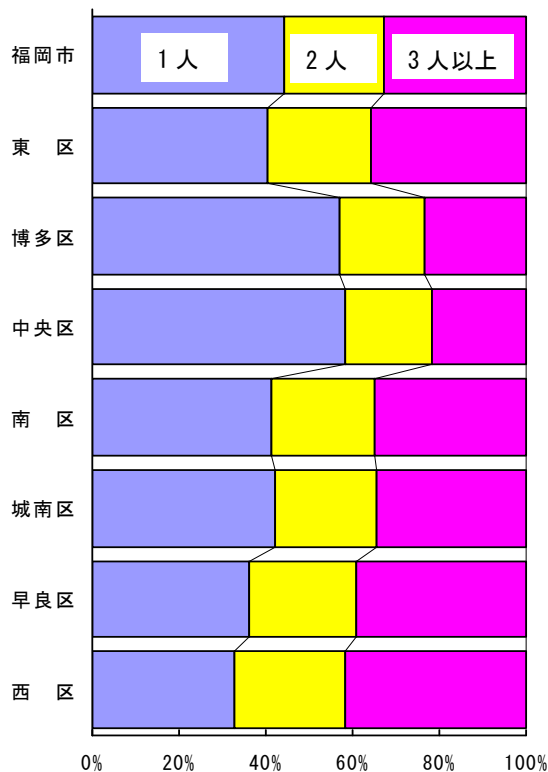
**(5) 小学校区別人口**  
人口増加数が最も多かったのは照葉校区

小学校通学区別に見ると、人口が最も多いのは、平尾校区（中央区）の20,562人で、以下、那珂校区（博多区）19,288人、博多校区（博多区）17,567人、香住丘校区（東区）16,518人、松島校区（東区）16,034人と続きます。

人口が最も少ないのは、曲渕校区（早良区）の203人で、次いで小呂校区（西区）211人、勝馬校区（東区）299人となっています。校区の境界に変動があった地域を除いて、人口増加数が一番多かった校区は、開校2年目を迎えた照葉小学校のある照葉校区（1,011人増）です。

世帯数は、平尾校区（中央区）11,258世帯、博多校区（博多区）11,414世帯、警固校区（中央区）9,443世帯、那珂校区（博多区）9,229世帯、春吉校区（中央区）8,139世帯の順となっています。（表5）

**図2 世帯員数別世帯数**



**表4 世帯員数別世帯数** 構成比

市区	世帯数	世帯人員(世帯)										構成比(%)		
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	1人	2人	3人以上			
福岡市	652 282	289 721	149 131	100 163	81 191	25 399	5 009	1 668	44.4	22.9	32.7			
東区	122 998	49 665	29 279	20 360	16 822	5 496	1 061	315	40.4	23.8	35.8			
博多区	104 015	59 164	20 497	12 062	8 842	2 689	562	199	56.9	19.7	23.4			
中央区	91 420	53 403	17 976	10 455	7 197	1 933	348	108	58.4	19.7	21.9			
南区	110 905	45 862	26 481	17 993	14 803	4 630	871	265	41.4	23.9	34.8			
城南区	56 045	23 719	13 118	8 994	7 400	2 331	388	95	42.3	23.4	34.3			
早良区	90 345	32 775	22 253	16 105	13 947	4 167	825	273	36.3	24.6	39.1			
西区	76 554	25 133	19 527	14 194	12 180	4 153	954	413	32.8	25.5	41.7			

表5 福岡市小学校区別世帯数及び人口

平成20年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口
<b>福岡市合計</b>	<b>652 282</b>	<b>1 382 563</b>	春吉	8 139	10 894	原西	4 794	11 034
<b>東区</b>	<b>122 998</b>	<b>272 728</b>	草ヶ江	6 811	13 258	原北	3 096	7 718
馬出	5 027	8 439	平尾	11 258	20 562	飯倉	4 373	9 810
宮松	6 669	12 128	高宮	7 302	10 936	賀茂	4 424	9 845
箱崎	6 958	12 289	赤坂	5 838	10 452	有田	4 400	10 636
香椎	4 978	10 427	南当仁	8 049	15 287	野芥	4 969	11 768
多々良	6 150	13 422	笹丘	5 391	11 598	大原	3 970	8 609
名島	6 300	14 549	舞鶴	4 291	6 581	四箇田	3 523	8 680
香住丘	7 933	16 518	小笹	6 280	14 688	飯原	2 964	7 057
和白	4 693	11 047	福浜	2 780	5 805	有住	2 505	5 064
千早	3 147	7 204	鳥飼 *	310	690	田村	3 905	9 588
城浜	2 350	4 117	<b>南区</b>	<b>110 905</b>	<b>242 327</b>	飯倉中央	2 308	5 485
若宮	4 321	9 791	三宅	7 694	15 607	小田部	3 409	9 206
勝馬	102	299	花畑	3 866	9 397	百道浜	2 918	7 584
志賀島	737	1 847	玉川	7 792	14 346	脇山	998	2 614
西戸崎	2 540	5 961	西高宮	7 538	15 905	内野	2 646	6 846
美和台	6 424	15 704	日佐	2 749	6 667	曲渕	76	203
八田	2 954	6 996	宮竹 *	6 008	12 176	入部	2 925	7 473
和白東	5 191	12 394	大楠	5 944	9 197	早良	1 509	3 852
舞松原	3 966	9 862	若久	4 758	10 647	<b>西区</b>	<b>76 554</b>	<b>185 018</b>
香椎東	5 481	13 496	老司	3 663	8 681	姪浜	5 917	13 011
青葉	4 520	12 439	長住	3 577	8 504	壱岐	5 815	15 593
奈多	4 009	9 372	筑紫丘	4 462	9 416	能古	346	760
香椎浜	2 352	5 593	西花畑	4 972	11 997	内浜	6 540	13 564
香椎下原	6 089	12 843	弥永	3 114	6 928	金武	1 618	4 659
千早西	3 088	7 065	東花畑	3 960	9 207	下山門	3 703	9 134
東箱崎	3 168	6 770	長丘	4 083	10 709	壱岐南	3 922	10 050
香陵	1 754	4 830	西長住 *	1 774	4 074	西陵	2 662	5 750
松島	7 647	16 034	弥永西	3 499	8 472	壱岐東	2 278	5 078
三苫	3 629	8 880	東若久	3 203	7 401	石丸	4 603	11 708
照葉	821	2 412	鶴田	2 951	7 524	愛宕	5 361	11 903
<b>博多区</b>	<b>104 015</b>	<b>190 031</b>	野多目	4 681	11 790	福重	3 525	8 163
博多	11 414	17 567	高木	4 222	8 092	城原	3 164	7 972
住吉	5 043	7 007	大池	3 559	8 211	愛宕浜	2 448	6 941
堅粕	6 141	8 898	塩原	5 839	10 504	姪北	4 693	9 711
千代	6 037	8 793	柏原	3 428	9 090	今宿	4 669	11 514
吉塚	5 118	9 344	横手	3 569	7 785	今津	1 453	3 195
東住吉	5 277	7 300	<b>城南区</b>	<b>56 045</b>	<b>121 213</b>	周船寺	5 122	13 042
席田	2 902	6 295	西長住 *	827	2 037	元岡	3 997	10 519
月隈	3 619	7 824	長尾	5 987	13 158	北崎	560	1 677
春住	5 017	8 072	鳥飼 *	3 880	8 728	北崎小西浦分校	346	1 120
板付	6 330	13 766	別府	7 474	15 235	玄界	230	578
那珂	9 229	19 288	七隈	6 143	12 505	小呂	65	211
那珂南	6 587	12 639	堤	4 345	10 532	玄洋	3 517	9 165
東光	4 338	7 379	城南	6 353	14 028	<b>複数区にまたがる小学校区の合算</b>		
東吉塚	5 257	9 828	金山	3 800	7 475	宮竹【合算】	7 630	15 832
美野島	5 661	9 614	片江	5 787	11 834	西長住【合算】	2 601	6 111
板付北	3 300	7 551	南片江	3 647	8 555	鳥飼【合算】	4 190	9 418
東月隈	3 464	8 403	田島	4 977	11 049			
三筑	5 561	11 887	堤丘	2 825	6 077			
弥生	2 098	4 920	<b>早良区</b>	<b>90 345</b>	<b>209 179</b>			
宮竹 *	1 622	3 656	西新	7 383	15 343			
<b>中央区</b>	<b>91 420</b>	<b>162 067</b>	原	4 380	10 143			
大名	3 074	4 392	高取	7 498	15 352			
当仁	7 252	13 579	百道	3 203	7 129			
箕子	5 202	7 956	田隈	3 316	7 443			
警固	9 443	15 389	室見	4 853	10 697			

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「\*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

## 2. 人口動態

### (1) 自然動態

#### 出生数の伸びが続くも、増加率は減少

平成20年（1～12月）の自然動態（出生と死亡の数）は、出生数13,977人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）10.11‰（パーミル）、死亡数9,654人、死亡率（同死亡数）6.98‰で、自然増加数は両者の差4,323人、自然増加率（同自然増加数）は3.13‰となっています。

平成19年と比較すると、出生数は昨年より56人増加し（前年比0.4%増）、3年連続で増加しています。しかし、死亡数の増加が550人（同6.0%増）と出生数の伸びより大きく、その結果自然増加数は平成19年の4,817人に比べ、494人減少しました。

行政区別に見ると、東区は出生数（3,005人）、死亡数（1,906人）ともに最も多く、また、自然増加数（1,099人）も最も多くなっています。

出生数が平成19年より増加したのは、東区、博多区、中央区、南区の4区で、城南区、早良区、西区の3区は減少しています。

一方、死亡数は全ての区で増加しており、

自然増加数が平成19年を上回ったのは東区だけです。（表6・7、図3）

図3 自然増加数, 出生数, 死亡数及び自然増加率の推移

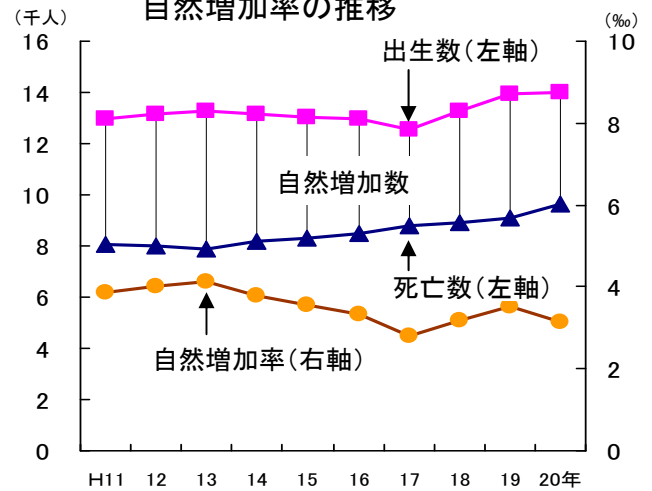


表6 自然増加数, 出生数, 死亡数及び自然増加率の推移

年	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加率
	人	人	人	‰
平成11年	4 938	13 000	8 062	3.85
12年	5 186	13 158	7 972	4.02
13年	5 366	13 243	7 877	4.12
14年	4 959	13 135	8 176	3.77
15年	4 706	13 024	8 318	3.55
16年	4 468	12 978	8 510	3.34
17年	3 780	12 542	8 762	2.8
18年	4 340	13 255	8 915	3.19
19年	4 817	13 921	9 104	3.51
平成20年	4 323	13 977	9 654	3.13

表7 自然動態

市区	平成19年			平成20年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比	出生数	前年比	死亡数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	4 817 (3.51)	13 921 (10.14)	9 104 (6.63)	4 323 (3.13)	△ 10.3	13 977 (10.11)	0.4	9 654 (6.98)	6.0
東区	954 (3.54)	2 773 (10.29)	1 819 (6.75)	1 099 (4.03)	15.2	3 005 (11.02)	8.4	1 906 (6.99)	4.8
博多区	753 (4.04)	2 027 (10.86)	1 274 (6.83)	682 (3.59)	△ 9.4	2 077 (10.93)	2.5	1 395 (7.34)	9.5
中央区	505 (3.15)	1 469 (9.16)	964 (6.01)	436 (2.69)	△ 13.7	1 477 (9.11)	0.5	1 041 (6.42)	8.0
南区	721 (2.97)	2 392 (9.86)	1 671 (6.89)	683 (2.82)	△ 5.3	2 401 (9.91)	0.4	1 718 (7.09)	2.8
城南区	428 (3.53)	1 204 (9.92)	776 (6.40)	289 (2.38)	△ 32.5	1 098 (9.06)	△ 8.8	809 (6.67)	4.3
早良区	726 (3.48)	2 077 (9.94)	1 351 (6.47)	588 (2.81)	△ 19.0	2 019 (9.65)	△ 2.8	1 431 (6.84)	5.9
西区	730 (3.98)	1 979 (10.79)	1 249 (6.81)	546 (2.95)	△ 25.2	1 900 (10.27)	△ 4.0	1 354 (7.32)	8.4

注) ( )内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

(2) 社会動態（市外移動）  
5,047人の転入超過

平成20年の社会動態（市外との転出入の数）は、転入者数74,425人、転入率（人口1,000人当たりの転入者数）53.83‰、転出者数69,378人、転出率（同転出者数）50.18‰で、社会増加数は両者の差5,047人、社会増加率（同社会増加数）は3.65‰となっています。

平成19年と比較すると、転入者数は2,852人減少、転出者数は1,985人減少し、社会増加数は867人減少したものの、社会増（転入

者数が転出者数を上回る）の状態が、平成8年以降続いています。

行政区別に見ると、転入者数が最も多いのは博多区(15,400人)で、社会増加数も2,545人と最も多くなっています。一方、南区では転出者数が転入者数を上回り、社会動態では591人の減少となっています。

各区の人口増加の内訳を見ますと、博多区、中央区など都心部では社会増加数の割合が高く、周辺の区では自然増加数の割合が高くなっています。(図4・5、表8)

図4 行政区別転入、転出者数

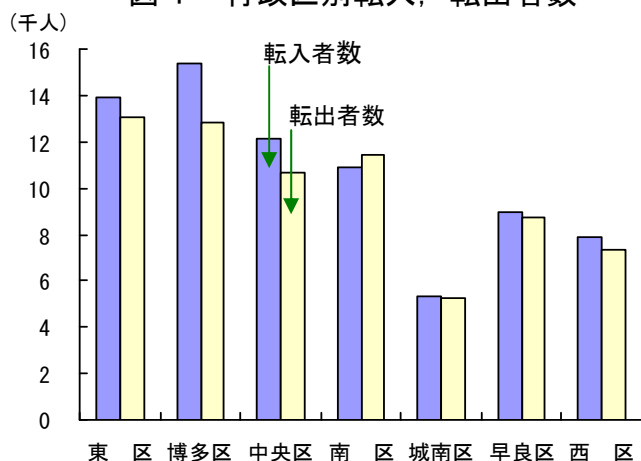


図5 人口動態の構成

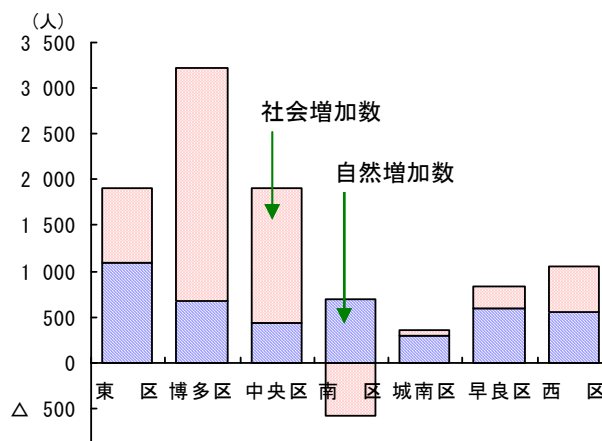


表8 社会動態（市外移動）

市区	平成19年			平成20年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	5,914 (4.31)	77,277 (56.29)	71,363 (51.98)	5,047 (3.65)	△ 14.7	74,425 (53.83)	△ 3.7	69,378 (50.18)	△ 2.8
東区	1,777 (6.59)	14,964 (52.91)	13,187 (49.72)	818 (3.00)	△ 54.0	13,875 (50.87)	△ 7.3	13,057 (47.88)	△ 1.0
博多区	2,341 (12.55)	14,989 (81.16)	12,648 (67.27)	2,545 (13.39)	8.7	15,400 (81.04)	2.7	12,855 (67.65)	1.6
中央区	1,490 (9.29)	12,561 (84.11)	11,071 (66.40)	1,470 (9.07)	△ 1.3	12,122 (74.80)	△ 3.5	10,652 (65.73)	△ 3.8
南区	△ 496 (△2.05)	11,376 (50.20)	11,872 (49.41)	△ 591 (△2.44)	△ 19.2	10,868 (44.85)	△ 4.5	11,459 (47.29)	△ 3.5
城南区	420 (3.46)	5,853 (46.82)	5,433 (46.38)	61 (0.50)	△ 85.5	5,299 (43.72)	△ 9.5	5,238 (43.21)	△ 3.6
早良区	269 (1.29)	9,496 (46.67)	9,227 (44.24)	243 (1.16)	△ 9.7	8,982 (42.94)	△ 5.4	8,739 (41.78)	△ 5.3
西区	113 (0.62)	8,038 (45.93)	7,925 (42.12)	501 (2.71)	343.4	7,879 (42.59)	△ 2.0	7,378 (39.88)	△ 6.9

注) ( )内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。

### 3. 外国人登録者数の状況

平成20年の外国人登録者数は21,277人で、統計をとり始めて最も多い人数となりました。男女別では、男性が10,654人、女性が10,623人で、性比（女性を100としたときの男性の割合）が100.3と、男女の割合はほぼ同じとなっています。行政区別に見ると、多いほうから東区(6,734人)、博多区(4,973人)、中央区(3,203人)となっています。

政令指定都市となった昭和47年以降の動

図6 男女別外国人登録者数の推移

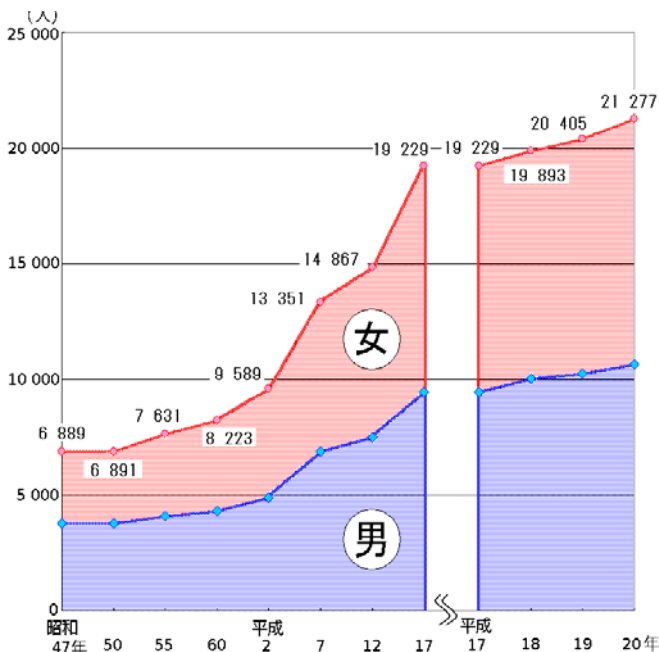


表9 男女別，行政区別外国人登録者数の推移

年	総数	男	女	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	世帯数(参考)
昭和47年(1972)	6 889	3 782	3 107	2 064	2 728	915	525	—	—	657	2 413
50年(1975)	6 891	3 785	3 106	2 260	2 341	850	628	—	—	812	2 526
55年(1980)	7 631	4 100	3 531	2 697	2 310	797	757	—	—	1 070	2 993
60年(1985)	8 223	4 312	3 911	3 245	2 122	930	773	323	462	368	3 297
平成2年(1990)	9 589	4 902	4 687	3 651	2 270	1 334	902	412	558	462	4 637
7年(1995)	13 351	6 882	6 469	4 975	2 886	1 906	1 326	654	994	610	7 200
12年(2000)	14 867	7 506	7 361	5 189	3 231	2 378	1 512	734	1 038	785	8 286
17年(2005)	19 229	9 474	9 755	6 036	4 406	2 909	2 351	984	1 576	967	11 800
18年(2006)	19 893	10 030	9 863	6 150	4 513	2 988	2 542	967	1 691	1 042	12 343
19年(2007)	20 405	10 265	10 140	6 370	4 636	3 116	2 501	957	1 686	1 139	12 702
平成20年(2008)	21 277	10 654	10 623	6 734	4 973	3 203	2 620	897	1 657	1 193	13 314

注) 昭和47年に政令指定都市になった際は5区制。昭和57年5月に西区を城南、早良、西に分区する際、あわせて中央区及び南区にかかる境界見直しも行ったため、本表において、関係する5行政区の昭和55年以前と昭和60年以降の数値について、同一地域を対象とした比較は行えない。

きを見ると、平成に入ってから伸びが大きく、平成2年(9,589人)から平成17年(19,229人)までの15年間で2倍以上の登録者数となっています。(表9、図6)

次に年齢階級別に見ると、5歳階級で最も多い区分は男女とも25～29歳の区分(男2,262人、女1,944人)で、次いで20～24歳の区分(男2,040人、女1,944人)となっており、男女を合わせた総数で20歳代が全体に占める割合は39.2%となっています。(表10)

最後に国籍・地域別に見ると、アジア地域が19,060人で全体の89.6%を占めています。そのアジア地域を国別に見ると、中国が10,328人で最も多く、中国だけで全体の48.5%を占めています。次いで韓国又は朝鮮が6,339人(構成比29.8%)となっています。近年の傾向を見ると、中国は増加傾向が続いていますが、韓国又は朝鮮はわずかながら減少傾向にあります。(表11)

福岡市の人口の詳細については、福岡市ホームページをご覧ください。

【福岡市の統計情報ホームページ】

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/index.html>

表 10 男女別，行政区別年齢別外国人登録者数（5歳階級）

年齢	総数	男	女	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総数	21 277	10 654	10 623	6 734	4 973	3 203	2 620	897	1 657	1 193
0～4歳	701	364	337	367	107	64	42	15	51	55
5～9	546	274	272	245	84	65	25	16	69	42
10～14	509	261	248	186	84	50	47	23	77	42
15～19	768	381	387	215	173	108	133	35	80	24
20～24	3 984	2 040	1 944	1 058	1 120	673	662	155	217	99
25～29	4 354	2 262	2 092	1 430	1 072	664	585	172	234	197
30～34	2 583	1 340	1 243	876	534	378	306	118	210	161
35～39	2 081	1 003	1 078	615	452	375	196	99	191	153
40～44	1 493	701	792	393	333	246	165	73	162	121
45～49	1 119	559	560	299	247	191	122	65	118	77
50～54	900	422	478	266	208	128	92	38	101	67
55～59	668	349	319	213	146	87	80	29	54	59
60～64	478	232	246	160	117	57	49	21	42	32
65～69	368	162	206	130	92	44	41	13	17	31
70～74	270	117	153	107	66	32	33	13	10	9
75～79	186	74	112	68	60	17	15	4	10	12
80～84	139	59	80	48	45	11	15	4	8	8
85～89	90	42	48	37	20	10	11	4	6	2
90～94	32	10	22	17	9	3	1	—	—	2
95～99	7	2	5	3	4	—	—	—	—	—
100歳以上 (再掲)	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—
15歳未満	1 756	899	857	798	275	179	114	54	197	139
15～64歳	18 428	9 289	9 139	5 525	4 402	2 907	2 390	805	1 409	990
65歳以上	1 093	466	627	411	296	117	116	38	51	64

表 11 男女別，国籍別外国人登録者数

国・地域	平成 19年	平成 20 年			国・地域	平成 19年	平成 20 年		
		総数	男	女			総数	男	女
総計	20 405	21 277	10 654	10 623					
アジア	18 216	19 060	9 271	9 789	アフリカ	156	216	139	77
中国	9 678	10 328	5 230	5 098	エジプト	72	114	68	46
韓国又は朝鮮	6 356	6 339	2 970	3 369	その他	84	102	71	31
フィリピン	841	859	143	716	北米	794	759	513	246
ネパール	215	298	226	72	米国	590	572	379	193
インドネシア	222	244	139	105	カナダ	162	144	111	33
ベトナム	163	216	113	103	その他	42	43	23	20
インド	161	155	120	35	南米	215	230	129	101
バングラデシュ	124	132	72	60	ペルー	89	98	59	39
タイ	116	131	50	81	ブラジル	81	81	44	37
スリランカ	80	74	52	22	その他	45	51	26	25
その他	260	284	156	128	オセアニア	246	221	155	66
ヨーロッパ	771	785	442	343	オーストラリア	157	137	98	39
英国	222	212	153	59	ニュージーランド	77	69	45	24
ロシア	106	100	23	77	その他	12	15	12	3
フランス	88	98	77	21					
その他	355	375	189	186	無国籍	7	6	5	1